

アルミニウム製庇 (RSバイザー RS-CF型) 施工要領

このたびは、ダイケンアルミニウム製庇RSバイザーをご採用いただき、ありがとうございます。

アルミニウム製庇RSバイザーは、遮光性又は採光性、遮熱性、防雨性、意匠性の目的で使用されるものです。

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。

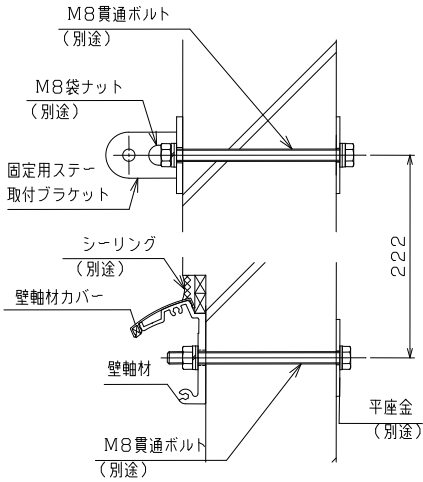
⚠ 注 意

転落の恐れがありますので、庇に乗ったりぶらさがったりしないでください。
庇が破損する恐れがありますので、積雪80cmを超える前に必ず雪降ろしを行ってください

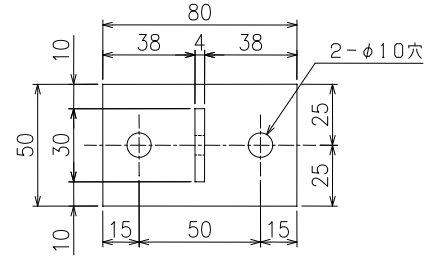
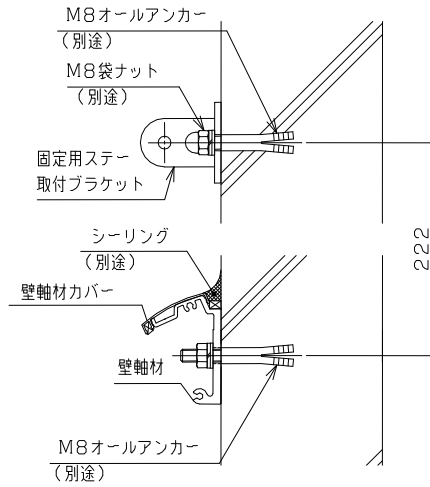


壁側納まり図（断面）

A L C下地に取り付ける場合

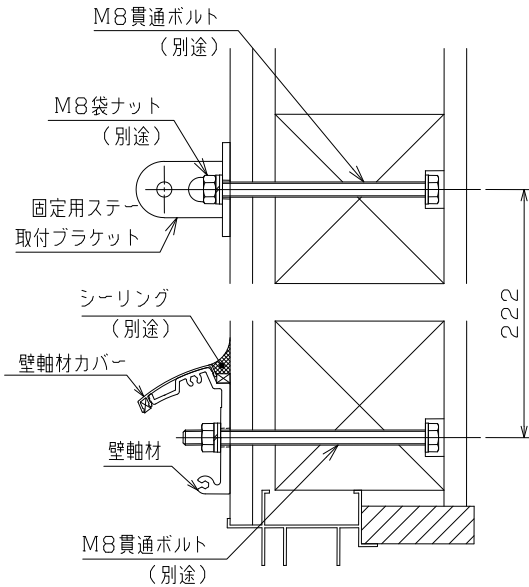
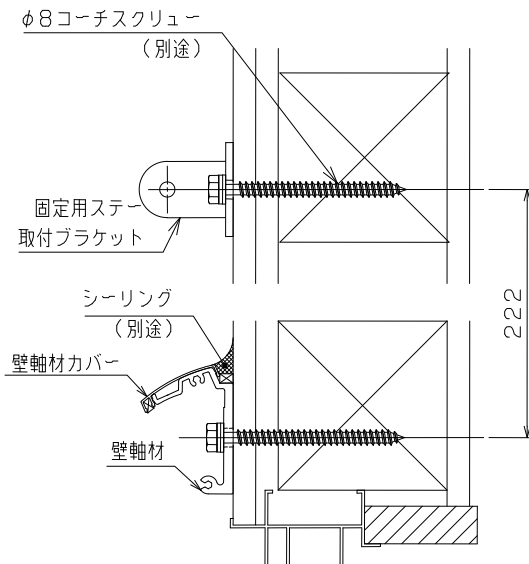


コンクリート下地に取り付ける場合

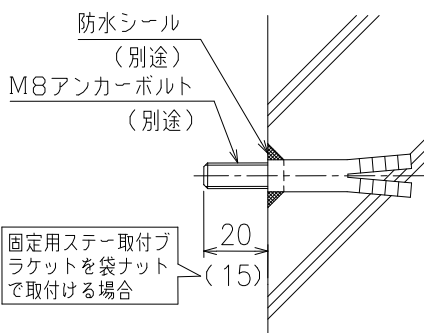


固定用ステー取付
ブラケット詳細図

木造下地に取り付ける場合



アンカー取付要領



アンカーボルトは、下地から 20mm 飛び出すようにしてください。但し、**固定用ステー取付ブラケットを袋ナットで取付ける場合は、下地から 15mm 飛び出すようにしてください。**内部への浸水を防ぐためにアンカーボルトの周りに防水シールを施してください。貫通ボルトを使用する際も同様に防水シールを施し、雨水が内部に浸入しないようにしてください。

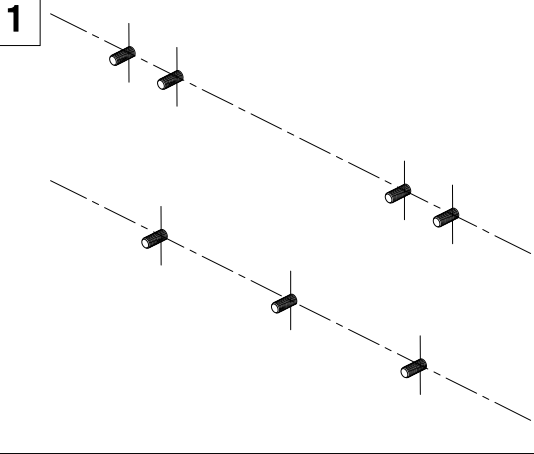
⚠ 注意

アンカーボルトは有効長さが、仕上モルタルやタイル等の仕上材の厚さを含めず、躯体部分に確実に入るようにしてください。

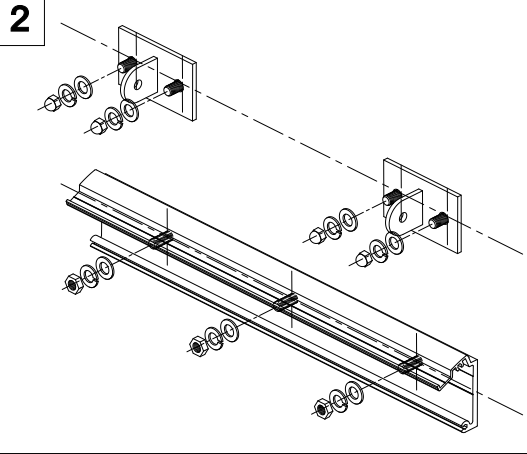
アンカー取付位置

アンカーボルトの取付位置は、別紙図面にてご確認ください。

施工手順



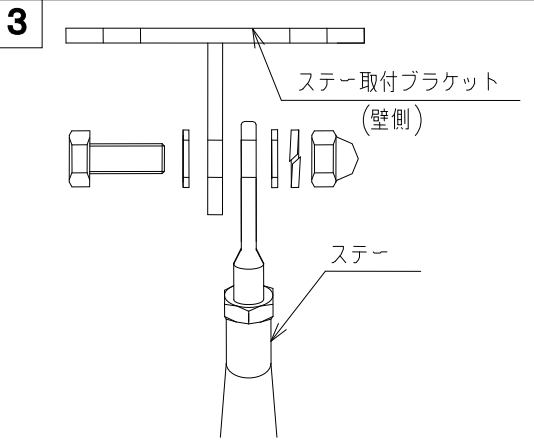
1 アンカー図に基づき墨出しを行い、アンカー（M8・別途）を取付けます。（アンカーは壁によって異なります。）



2 壁軸材・ステー取付ブラケットを取付けます。取付面の通りが出ていない場合は、壁軸材の裏側にスペーサー（別途）を入れて調整してください。通りが出てないと庇本体が、取付れない場合があります。壁軸材のレベル出しは確実に行って下さい。

注意

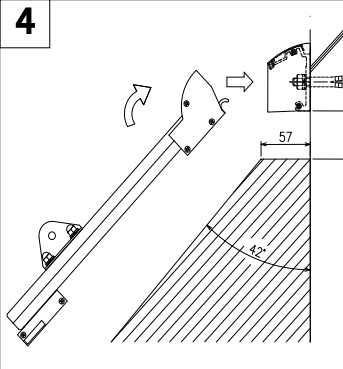
壁軸材及び固定用ステー取付ブラケットは、確実に取付けてください。落下すると事故の原因になります。



3 あらかじめ庇本体の角度を決めておき、固定用ステーを上図のように取付けます。この時、インパクトで根元まで締付けると焼付けを起こす恐れがありますので注意して下さい。

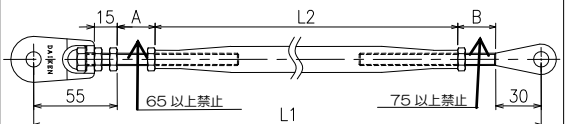
注意

庇本体の角度は、固定用ステーの長さで決まります。ステー取付の際は、取付金具の調整範囲内で取付角度にあった長さに調整し、付属の六角ボルトで固定して下さい。この時、六角ボルトは、根元まで確実に締めてください。落下すると事故の原因になります。

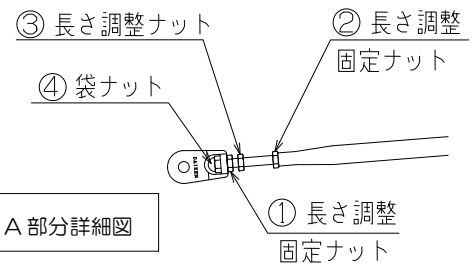
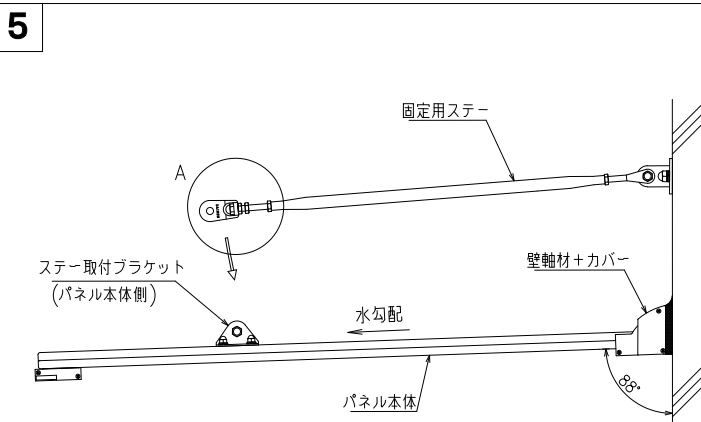


4 図のように、庇本体を壁軸材に取付け、回転させます。その際、斜線部に物があると庇と干渉するため、庇を先に取付けてください。

固定用ステー金具長さ調整範囲



D	角度	L1	L2	A	B
600~750	88°~70°	441~508	290	30~61	36~72
751~1000	88°~70°	624~695	475	30~63	34~72



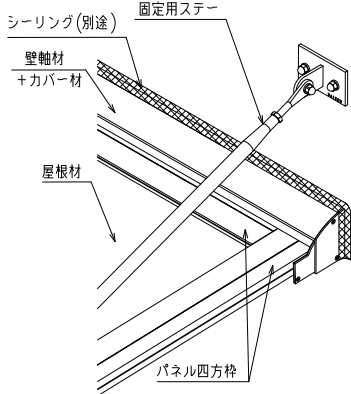
A部分詳細図

注意

固定用ステーは、確実に取付けてください。落下すると事故の原因になります。

ステー取付ブラケットと固定用ステーを付属のボルト・ナットで取付けます。この時、インパクトで締付けると焼付けを起こす恐れがありますので注意して下さい。ステー長さ微調整は、長さ調整固定ナット①、②をゆるめ、長さ調整ナット③を回し微調整できます。調整後はステーの袋ナット④にボルトがしっかり入っていることを確認し、長さ調整固定ナット①、②を確実に締付けて下さい。この時、長さ調整固定ナットがゆるむ原因となりますので、長さ調整固定ナット③が供回りしない様に注意して下さい。

6



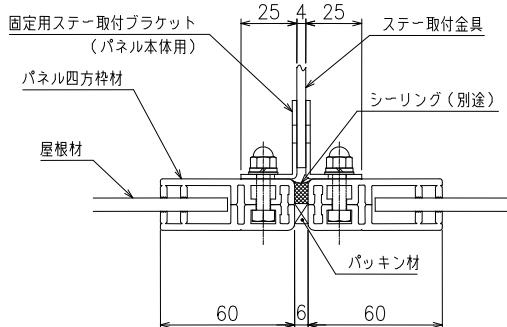
底本体取付後、壁軸材
上部・端部に防水シー
リング(別途)を施します。

注意:パッキン材には、クロロプレングムを使用
しています。シーリング時にシール材によ
り化学反応を起こしシール材が変色する場
合がありますのでご注意ください。変色の対
処としては、シーリング時にパッキン材の
クロロプレングムをマスキングしてシー
リング材と接触させないようにして下さい。

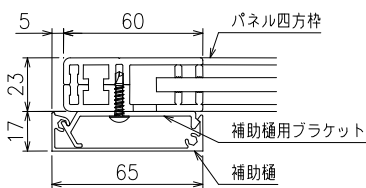
注意

樋は、確実に取付
けてください。
落下すると事故
の原因になりま
す。

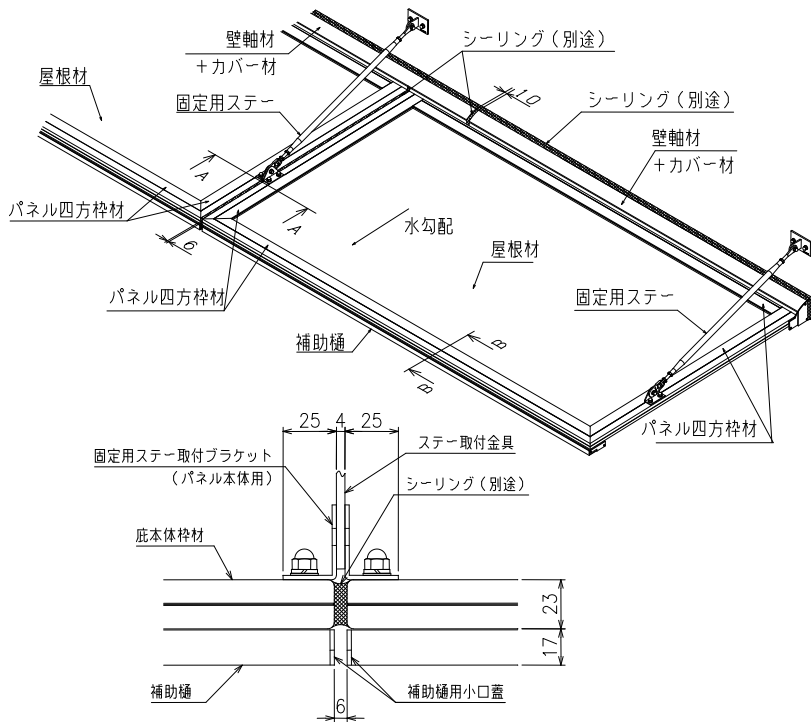
7



A-A 断面詳細図

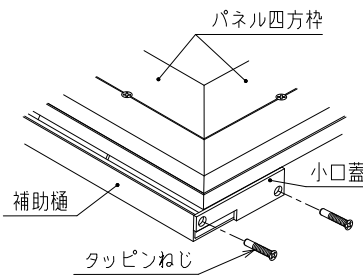
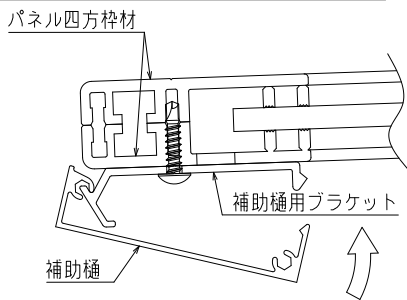


B-B 断面詳細図



底本体ジョイント部先端詳細図

※現場にて補助樋を取付ける場合



注意

補助樋は、確実に
取付けてくださ
い。
落下すると事故
の原因になりま
す。

底本体、壁軸材(カバー材)が2枚割り以上になる場合は、基本的に上図のような納まり(参考)になります。基本的に補助樋は底本体ごとに上図のように途切れる仕様となります。(補助樋のジョイントはありません)
尚、庇の全長が4m以下で底本体が2枚割り以上の場合に補助樋を現場にて取付ける際には、図のように、ブラケットの先端側にある突起部に補助樋本体を引っ掛けて回転させパチンと音がするまで確実に補助樋本体をブラケットに押し込んでください。その後、補助樋の両端に小口蓋を付属のタッピンねじで取付けてください。

●改良のため予告なく商品の仕様を一部変更する場合があります。



株式会社 **ダイケン**

ホームページアドレス <http://www.daiken.ne.jp>
本社 〒532-0033 大阪市淀川区新高2丁目7番13号
電話(06)6392-5321(代表)

札幌支店 (011)232-3017(代)
東京支店 (03)3633-6551(代)
名古屋支店 (0586)77-7561(代)
大阪支店 (06)6392-5556(代)
盛岡営業所 (019)648-2220(代)
仙台営業所 (022)235-4380(代)
埼玉営業所 (048)667-9381(代)

千葉営業所 (03)3633-6552(代)
神奈川営業所 (045)316-3901(代)
静岡営業所 (054)237-5375(代)
岡山営業所 (086)297-9100(代)
広島営業所 (082)294-9181(代)
福岡営業所 (092)935-9731(代)
東京西出張所 (042)567-1338(代)